

愛知登文会総会報告

第14回

令和6年6月20日発行

令和6年度総会

令和6年6月11日(火)開催

第14回目の総会を蒲郡クラシックホテルにて開催しました。総会には Zoom での参加者も含め 70 名以上という非常に多くの方にご参加いただき、総会後にはホテルの見学会を行いました。懇親会は同会場にて実施し、50 名の方にご参加いただき、交流を深めることができました。ありがとうございました。

総会

午後2時～2時45分

令和6年度総会は、正会員総数72名のうち54名出席(うちZOOM参加1名、委任状36名)のもと、後藤理事の開会の辞で始まりました。ご来賓には、愛知県文化財室室長 岡田邦裕様、同主事 川野真央様、蒲郡市博物館 竹内真治様、大阪登文会 青山修司様、京都登文会 塚本喜左衛門様、三重県の登文会「さんとうぶん」竹内千鶴様、滋賀登文会 若林三津子様、あいちヘリテージ協議会代表世話人 下會所豊様、なごや歴史まちづくりの会 松井明子様にご臨席賜りました。開催にあたり、蒲郡クラシックホテルの皆様にご協力いただきました。



蒲郡クラシックホテルの前にて記念撮影

会長挨拶

会長 小栗宏次

第14回となる愛知登録文化財建造物所有者の会の総会にお越しいただきありがとうございます。長年、蒲郡クラシックホテルさんで総会を行いたいと思っておりましたので、開催できますことを心より感謝申し上げます。

全国の登録文化財の数は令和6年で1万4000件を超えました。現在、愛知県は大阪、兵庫、京都、長野に続き全国5位で571件の登録文化財がございます。全国的に見ても愛知県は上位に位置しておりますし、全国にある10の登録文化財所有者の会の中でも愛知県は積極的に活動している1つだと思います。これも全て皆様方のご支援のおかげでございます。

昨今、文化財を取り巻く環境は厳しいものがございますが、皆様と情報交換、共有しながらさらに文化財の活用を進めてまいりたいと思っておりますので、皆様のお力添えを引き続きよろしくお願いいたします。

総会後には、8回目となる表彰を行いました。今回は、文化財の保存活用に積極的に取り組むとともに、当会の発展に日頃からご協力いただいている爲三郎記念館の古川知足会と窯のある広場・資料館のINAXライブミュージアムへ表彰状をお贈りするとともに、オンラインあいたて博の撮影に多大なご協力をいただいているカメラマンの松森氏と熊本氏に感謝状を贈りました。

1 開会の辞 / 2 会長挨拶 / 3 来賓祝辞 / 4 議長指名
5 議題

- 第1号議案 令和5年度事業報告
- 第2号議案 令和5年度決算報告及び会計監査報告
- 第3号議案 規約の一部改正について
- 第4号議案 令和6年度役員について
- 第5号議案 令和6年度事業計画について
- 第6号議案 令和6年度予算について

6 閉会の辞 / 7 写真撮影



爲三郎記念館 古川知足会 古川為之様

窯のある広場・資料館
INAXライブミュージアム 尾之内明美様

カメラマン 松森健様



カメラマン 熊本仁志様

蒲郡クラシックホテル紹介・見学会 午後3時15分～

蒲郡クラシックホテルの安川様からホテルの歴史や価値についてご紹介いただきました。その後、3グループに分かれて本館を含め4つの登録文化財を見学しました。



蒲郡クラシックホテルの紹介

懇親会

午後5時～7時

懇親会は蒲郡クラシックホテル本館1階の桜の間で開催されました。

会場ではお一人ずつ自己紹介をしていただき、親睦を深めることができました。コースについて、料理長からご説明いただき、蒲郡ホテル時代の味を再現した伝統のビーフカツレツもご提供いただきました。

クラシカルな歴史を感じる会場で素晴らしいサービスを受けることができ、大変充実した時間となりました。



川原田理事の乾杯でスタート

役員体制

理事長(会長)	小栗 宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野 啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
"	寛 清澄	(寛家住宅主屋)
"	三井 蓮孝	(蓮教寺本堂ほか)
事務局長	若山 宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
"	八木 則行	(岡崎信用金庫資料館)
"	後藤 泰男	(窯のある広場・資料館ほか)
"	古川 為之	(為三郎記念館ほか)
"	大辻 織絵	(旧石原家住宅)
"	尾関 立志	(尾関家住宅主屋ほか)
"	酒井外美江	(川田家住宅主屋)
"	川原田 淳	(川原田家住宅主屋ほか)
監事	佐滝 剛弘	(城西国際大学教授)
"	佐藤 敏博	(佐藤会計事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会)
相談役	瀬口 哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
"	杉野 丞	(愛知工業大学名誉教授)
"	井澤 知且	(名古屋学院大学名誉教授)
"	溝口 正人	(名古屋市立大学大学院教授)
"	西澤 泰彦	(名古屋大学大学院教授)
"	是澤 紀子	(日本女子大学准教授)
"	小川 芳範	(立命館大学講師)
"	牧 謙治	(愛知医療学院大学)

昨年度より新たな取組もはじまりましたので、令和6年度も引き続き当会のさらなる発展に向けた活動を行っていきます。皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。

愛知県登録有形文化財公開活用事業（文化芸術振興費補助金）

- ① **登録文化財保存活用シンポジウム**（平成29年度より）：保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを3回開催する。
- ② **オンライン登録文化財魅力体験シンポジウム**（令和5年度より）：登録有形文化財の魅力を紹介する動画を制作するとともに、その動画を紹介するオンラインシンポジウムを2回開催する。
- ③ **新規登録有形文化財訪問**（令和5年度より）：近年登録された登録有形文化財を愛知登文会会員（所有者）が訪問し、所有者や専門家の方にご案内いただくとともに、登録文化財の維持管理や活用についての意見交換を実施する。
- ④ **ウィキペディア愛知登文会**（令和5年度より）：ウィキペディア編集についての勉強会・体験会を開催し、その成果を踏まえて3回のWSにより愛知県内の登録有形文化財のウィキペディアを作成する。
- ⑤ **文化財魅力発信サポーター育成**（令和5年度より）：文化財に関心を持つ市民を対象に建物の見方や情報発信の方法に関する座学とワークショップの連続講座を開催するとともに、その実践としてあいたて博で情報発信を行ってもらう。
- ⑥ **あいたてカード**（令和5年度より）：地域の文化財を網羅的に紹介するコンテンツの1つとして、登録有形文化財の公開時などに利用できる名刺大のあいたてカードを作成する。

あいちのたてもの博覧会事業（文化芸術振興費補助金）

特別公開事業の対象を拡大し、NPO法人あいちヘリテージ協議会、NPO法人なごや歴まちの会と連携し、指定文化財や未指定文化財も含めた建物公開事業を令和5年度に続いて実施する。11回目の開催となる。

愛知登文会独自事業

愛知登文会の情報発信：ホームページ・フェイスブック・インスタグラム・公式LINEによる情報発信を行うとともに、総会報告及び愛知登文会ニュース（年3回）を制作・発行する。

保存活用事例視察：県内外の登録有形文化財や先進的取り組み等の視察を企画・実施する。

表彰の実施：総会にて文化財の優良な活用を行った所有者を表彰した。第9回の表彰に向け、表彰者の選定を行う。

全国登文会：全国登文会を通じて各地の登文会との連携を深め、登録文化財の保存活用を推進するとともに、岐阜県、静岡県のある所有者の会設立に向けた支援を行う。全国登文会フェスタ（6/21）、総会（6/22）に参加する。